



### 3学期始業式の様子



## 「地域とつながりながら躍動の1年を」

校長

新しい年の2026年が始まり、そして、3学期が始まりました。2学期の終業式では、地道な努力とそれを支える気持ちが達成や成功を導き、「必ずできる、こうありたい」という揺るぎない信念や強い願い、諦めない気持ちがとても大切。だから、「目標に向け、諦めず、夢中に」過ごせる自分、やり抜く自分を目指してほしいというお話しをしました。

さて、2026年の今年は「午年」です。午年というのは、大変縁起の良い年だそうで、それは「馬の持つ力強さ・躍動感」が理由だそうです。そのほかに「ウマくいく」といった言葉にも通じるというのも理由のようです。

振り返ってみれば、馬は昔から私たちにとって身近で頼もしい存在でした。時代劇で見たことがあるとおり、侍は馬に乗って駆け回っていましたし、シンデレラのところにもカボチャの馬車がやってきました。農業においてはトラクターが現れる以前は農耕馬が活躍していましたし、乗馬という趣味やスポーツも親しまれているところです。そんな身近で私たちの生活を豊かにもしてくれる馬のパワーをもらいつつ、今年は「躍動する1年」になることを期待したいところです。

さてその躍動にもつながるお知らせを皆さんにしたいと思います。それはコミュニティ・スクールについてのお知らせです。

「コミュニティ・スクール」という言葉を初めて聞く人も多いことでしょう。

これは何かというと、簡単に説明すると、「学校と保護者の皆様と地域の皆様が協力して、皆さん方生徒のために・学校の活動のために支援をする組織」というものになります。具体的に言うと、例えば何かの行事や授業で、地域の方々が一緒に参加して手助けをしてくれるだとか、皆さんが何かこんなことをやりたいと思ったときに、どうすればそれが実現できるかを一緒に考えてくれたりする、という組織です。

このコミュニティ・スクールを本校も令和8年度から導入することにしました。この組織には、本校のパートナー校である厚別通小学校と厚別北小学校も参加しています。小学校・中学校と地域がつながるこのコミュニティ・スクールを4月から導入して躍動の1年につなげていこうと思いますので、皆さんにも知っておいてほしいと思います。

それでは、3学期のスタート、午年にあやかり、躍動し飛躍する年として成長していきましょう。とりわけ、4月にはそれぞれ進級や進学などが待っています。特に3年生にとっては大事な進路に向けた貴重な時間の始まりとなります。新たな環境への準備も含めて、まずは今年度の集大成の学期となるよう心新たに頑張りましょう。

# 冬休み中に開催された大会の結果報告

## 【卓球部】全道選抜

### ＜予選リーグ＞

第一試合 vs 恵み野中 1-3●  
第二試合 vs 桜蘭中 2-3● → 3位トーナメント進出

### ＜3位トーナメント＞

1 回戦 vs 門別中 3-1○  
準決勝戦 vs 北見光西中 3-1○  
決勝戦 vs 北白石中 3-1○ → 3位トーナメント優勝



## 【卓球部】中学一年生大会

### ＜男子シングル＞

1 回戦敗退… 4名  
2 回戦敗退… 5名  
3 回戦敗退… 2名  
4 回戦敗退… 1名  
6 回戦敗退… 1名 → ベスト 16

### ＜女子シングルス＞

1 回戦敗退… 4名  
2 回戦敗退… 4名  
3 回戦敗退… 1名

＜男子ダブルス＞ ペア（1 組）… 1 回戦敗退

＜女子ダブルス＞ ペア（1 組）… 1 回戦敗退      ペア（1 組）… 2 回戦敗退



## 【男子ハンドボール部】北海道中学生ハンドボール選手権大会

1 回戦 vs 音更町立駒場中学校拠点校部活動 38-28○  
準決勝 vs 東月寒中学校 26-29● → 全道3位

## 【女子ハンドボール部】北海道中学生ハンドボール選手権大会

1 回戦 藤野・厚別北 vs MOTION plus ハンドボールクラブ 17-38●

## 【サッカー部】全道フットサル選手権大会 2026 U-14

vs SC SAPPORO U-15 0-2 ●  
vs FIBRA FC 2-7 ● → 予選リーグ敗退



## 【吹奏楽部】第 57 回北海道アンサンブルコンテスト札幌地区大会

金管 7 重奏 → 銀賞

## 「厚別北中学校区コミュニティ・スクールについて」

令和 8 年度から、厚別北小、厚別通小、厚別北中 3 校によるコミュニティ・スクールがスタートします。目的は保護者と地域が「小中一貫した教育グランドデザイン」を共有して、児童生徒の学びや育ちを支え、充実した教育活動を図ることです。学校運営協議会が組織され、学校関係者・地域の代表によって、学校運営の基本方針や教育活動等が確認されます。お互いの学校の教育活動を、より深く認識することで 9 年間の教育活動の見通しをもつことになります。また、さっぽろっ子自治的な活動のなかで「子どもの声」を学校運営に反映させることも一つのテーマとなっており、今後、学校運営協議会において熟議していきます。

## ＜学校評議員について＞

「学校評議員」とは、学校の外の立場から学校運営に関して、校長の求めに応じてご意見をいただく方です。開かれた学校づくりの視点から、地域社会からの支援・協力を得て、本校の教育活動を推進し、よりよい学校教育を目指すために置かれている制度です。

令和 7 年度本校の学校評議員を 3 名の方をお願いしています。

よろしくお願いいたします。